

山居倉庫周辺地区

(平成20年4月指定)

(1) 景観形成重点地域の区域

山居倉庫は、明治26年、旧庄内藩主酒井家によって建てられた米蔵です。漆喰壁の土蔵造りに、端正な切妻屋根の連なりが、背後のケヤキ並木や復元された山居橋と相まって美しい景観になっています。築120余年を経た今も現役で活躍しているその姿は、米どころ、港町として栄えた酒田のシンボルとして、かつての繁栄の面影を今に伝え、また四季折々に変化する表情は、多くの市民や観光客を魅了しています。

本市を代表する歴史・観光資源である山居倉庫の景観を保全するとともに、山居倉庫周辺及び近隣の本間家旧本邸を結ぶルート沿いなどの良好な景観づくりを進めるため、本区域を景観形成重点地域とします。



木漏れ日がまぶしい山居倉庫



(山居町一・二丁目、本町一・二丁目、千石町一丁目、若竹町一丁目 地内)

(2) 良好な景観の形成のための方針

ア 酒田を代表する歴史、観光資源である山居倉庫の景観を保全するとともに、周辺地区を山居倉庫と調和した個性的で魅力的なエリアとするために、地域住民、事業者、行政が協働で景観づくりを行います。

イ 山居倉庫や本間家旧本邸、旧鑑屋などの歴史的な雰囲気と調和した、和風の落ち着いたまちなみをつくります。

ウ 特に、山居倉庫と新井田川対岸は、相互に見る場所、見られる対象となることから、その関係を大切に景観づくりを進めます。

(3) 山居倉庫周辺地区景観形成基準

項目		A地区の基準 (山居町一丁目、本町一・二丁目)	B地区の基準 (山居町一・二丁目、千石町一丁目、若竹町一丁目)
建築物	高さ	12mまでとする。	20mまでとする。
	外観、意匠	山居倉庫、本間家旧本邸、旧鑑屋などの歴史的な雰囲気と調和した、和風の落ち着いた外観、意匠に配慮する。	同左
	屋根	勾配屋根（切妻、寄棟等）に黒系の和瓦を使用するよう配慮する。	勾配屋根（切妻、寄棟等）に黒系の和瓦が望ましい。
	外壁の色彩、仕上げ材	高彩度の色は使用しない。 漆喰壁、土壁、砂壁状吹付け材、板張りその他これらに類するもの又は同等の質感のある素材で仕上げるよう配慮する。	高彩度の色は使用しない。
	建具等	和風の外観との調和に配慮する。	同左
工作物等	門、塀等	塀を設置する場合はコンクリートブロック塀を避け、板塀や生垣の設置に配慮する。	—
	植栽	敷地内の樹木等を保全し、植栽の適切な維持管理に配慮する。	同左
	設備機器等	空調の室外機やガスボンベ等は、道路（山居倉庫）から見えない場所に設置するか、目隠し等の修景を施すよう配慮する。	同左
	自動販売機	高彩度の色は使用せず落ち着いた色彩を使用したり、目隠し等の修景を施すよう配慮する。	同左
	鉄塔等	周囲の景観への影響を軽減するため、設置場所や色彩、高さに配慮する。	同左
	駐車場等	板塀や生垣の設置に配慮する。	同左
	広告物	高彩度の色は使用せず、通りの雰囲気との調和に配慮する。	同左